

柳營日並記

天和四年 二月廿八日改元
貞享元年

正月御用番

大久保加賀守稲葉石見守松平縫殿頭坂本内記北条安房守
彦坂伯耆守大岡弥右衛門宮城主殿

朔日 緋御直垂

御太刀 喜多見若狹守 御刀 荒川長門守
御黒書院^二而 甲府殿御札着座兎之御吸物如御嘉例御規
式相濟御白書院^二而 尾張殿水戸殿御札^并紀伊殿在国^二付
名代久野丹波守以御太刀献上之其外御觀式如例年也

二日

御太刀 喜多見若狹守 御刀 齋藤飛騨守
辰后刻御白書院紀伊中将殿水戸殿息御札於大廣間国持大
名御札

一 已刻三丸^江 渡御^{緋御直垂也} 即刻還御

三日

御刀 花房丹波守 御話初留欠
無官之御札如例年同夜御誦初如例年

四日

年頭御祝儀相濟候^二付御三家甲府

五日

山王 御名代牧野備後守^{装束} 御太刀一腰^并龍馬代
金五枚初^而被猷之

禁中院中^江 大澤右京大夫
伊勢阿宮^江 織田隼人正
日光御宮^江 畠山民部大輔
同廿日御名代 牧野駿河守

右之通 御名代被 仰付候

山王へ

寺社奉行 坂本内記^{装束}
御目付 松平孫太夫^{布衣}
御徒頭 岡野半左衛門組共^{上下}

六日

已刻御白書院^江 出御増上寺始寺社御札

御太刀 喜多見若狹守

御刀 永井相模守

七日

御刀 喜多見若狹守^并 辰下刻御黒書院^江 出御水戸殿紀伊中将殿水戸少將殿
松平讃岐守等御札

金馬代

同

同

銀馬代

同

官位之御札
記岡部内膳正

小笠原修理大夫

金森出雲守

毛利駿河守

牧野美濃守

青山下野守

土屋大和守

松平能登守

堀田土佐守

前田伊賀守

牧野伊豫守

秋山修理亮

戸田長門守

稲垣淡路守

松平兵部大輔

森内記

三宅土佐守

金馬代

銀馬代

八日

上野^江 御參堂^{紅御直垂} 御先立筑前守

御供秋元摂津守 稲垣安藝守 金田遠江守 豫参 筑前守 豊後

守 山城守 備後守 稲葉石見守 御簾 備後守 御太刀 喜多見若

狹守 御刀 齋藤飛騨守

御沓 永井相模守

尾黄 水宰相 紀中将陪拝

九日

御誕生日御祝儀如例餅御酒被下之有合候面々

一 千代姫君様御祝儀大奥^{正被為}入候^{御指成瀬宗石之門} 御對顔以後八丈嶋

五十反色糸五十斤被遣之

一 水戸殿^江為年頭老中招請

御暇^{銀十枚 時服式ツツ} 内外官長官惣代^{式人}

十枚ツツ 年寄惣代式人

時服式ツツ 御師兩人

十日

十一日

御黒書院御床御具足飭之御祝儀有之如例年御連哥有
之刻^終未刻^終

松により思ひならふや千代の春

長閑に竹のうち靡く庭

面鳥の数多あきほになつき来て

一日一日に雪間そふ ころ

若草のおたる野辺は廣なり

あけゆく末のしるき澤水

秋に涼しく駒のいはふこへ

誰つの柳も風やはらすすし

つつく田面の道あらはなり

金十枚
時ふく三
羽折

大澤右京大夫

右は京都 御暇 付被下之

御暇銀五枚 上下京大坂堺年寄一人 秤屋御黒屋兩人

〃 三枚 同断惣代式人 奈良伏見淀川過出年寄

柳沢弥太郎御加増式石被下都合千二十石

山本九兵衛御小納戸被 仰付

式日寄合初
出座山城守

金十枚
羽折ふく二

勢州江
御暇

織田隼人正

同 日光江 御暇 同廿日 御名代

右御暇被下之 日門へ御樽肴被遣之

一 紀伊黃門御庫中
安宮様大奥被為 入色糸五十斤奥嶋三十反 御迎御

留守居番日根野長左工門

十一日也
(式石御加増都合千三十石被成下)

柳澤弥太郎

御納戸被 仰付之 桐之間々
山本九兵衛

御廊下番被 仰付之 二九々
小林半介

右之通被 仰付候

一日光江之献上物 御太刀一振 金十枚

十三日

尾張殿 為年頭老中招請之

十四日

紀伊殿使者
久野丹波守
津田九郎右衛門

右は御暇ニ付被下之

禁裏へ 銀百枚
蠟燭千挺

本院へ 五拾枚

春宮江 三百丁

新院 五十枚ッ

中宮へ 三十枚

式十枚 匂當内侍

金沓枚ッ 花山院右大將甘露寺黃門

十五日

月並御礼有之

銀馬代 年頭

一束一本

巻数 同

(日次記は)

一束一卷

東本 同

同

有馬假宿

観理院

山王別當

同神主

日吉大膳

神田明神々主

駿府

宝臺院

清見寺

東觀音寺

遠州 可睡齋

足利 學校

高野 大徳院

東巻

右之外遠國寺社進物献御礼 入御之節 都筑長左衛門

箱肴 右 御目見

時ふく式

同二

同

同一

同

右は御暇ニ付被下之

十六日

欠 水戸殿々鹿嶋御祓末廣五本献上之

十七日

紅葉山御宮 行列ニ而 御社参 例年御神酒御

頂戴被遊候

御先立

筑前守

永見甲斐守

右は日光御目付代被 仰付候

御簾 堀田下總守 御先 筑前守 御太刀 齋藤飛守

御刀 荒川長門守 御沓 永井相模守

尾黄門 水宰相 紀中将陪拝 知衆代拝迎

供奉堀田下總守堀田對馬守稲垣安藝守金田遠江守

豫参 筑前守豊後守備後守秋元摂津守

十八日

甲府殿 為年頭老中招請之

十九日

廿日

島山民部大輔日光掃謁

上野 御仏殿江御参詣

御先立

筑前守

供奉稲葉石見守稲垣安藝守金田遠江守

豫参筑前守豊後守山城守備後守堀田對馬守

御簾備後守 御太刀永井相模守 御刀齋藤飛驒守 御沓

荒川長門守 尾黄門水宰相紀中将陪拝保科肥後守堀田

下總守拝謁

廿一日

廿二日

岩城伊豫守代 諏訪因幡守
内藤紀伊守代 仙石越前守

右は高田在番代被 仰付候

一 式日寄合豊後守出座

廿三日

時ふく四

同式

同三

同二

同一

同二

右は御暇ニ付被下之

駿河 宝臺院

三州聖眼 松源寺

遠州 可睡齋

出雲惣代 佐草左衛門

愛宕 長床坊

富士 三浦刑部

廿四日

増上寺 御参詣

御供 御先立

御供秋元摂津守朽木和泉守稲垣安藝守

豫参筑前守豊後守山城守備後守稲葉石見守

御簾豊後守 御太刀喜多見若狭守 御刀永井相模守

御沓齋藤飛驒守

尾黄門水宰相紀中将陪拝保科肥後守堀田下總守拝謁

方丈 秋葉拝謁

廿五日

三丸^江渡御

廿六日

一 欠

但蒔田八郎左衛門煩^ニ付

廿七日

廿六日

御感狀御書式は御褒美被下趣家来之者^ニも於有之は委細書付可被差出候旨阿部豊後守堀田下総守諸士^江申渡之
京へ御暇
銀五枚
本院附
近藤彦左衛門

両御番

大久保右衛門八十八

設楽市左衛門六

戸川主膳 廿一

太田平太夫 十二

堀田源左衛門廿四

戸田作右衛門廿三

三枝平兵衛 八

三上外記 十

大岡兵右衛門七

松前作左衛門五

松平甚三郎 一

矢橋傳左衛門十五

大竹權之助 十六

渡辺次郎右衛門九

多門傳八郎 廿

小幡吉兵衛 四

戸田惣三郎 十七

前田主税 二

朽木弥三郎 三

河野源右衛門十四

水野多宮 十三

渡辺権六郎 十一

筒井内藏 十九

上使池田帶刀

甲府殿^江

水戸殿^江

尾張殿^江

同松平但馬守組（日次殿は組はなし）

同松平但馬守組（日次殿は組はなし）

同松平但馬守組（日次殿は組はなし）

同松平但馬守組（日次殿は組はなし）

同松平但馬守組（日次殿は組はなし）

同松平但馬守組（日次殿は組はなし）

同松平但馬守組（日次殿は組はなし）

同松平但馬守組（日次殿は組はなし）

同松平但馬守組（日次殿は組はなし）

同松平但馬守組（日次殿は組はなし）

同松平但馬守組（日次殿は組はなし）

同松平但馬守組（日次殿は組はなし）

右御帰府^ニ付土岐出羽守被遣之

桐之間^江

右之通被 仰付候

伊奈兵右衛門 三嶋御代官より高田へ場所替

廿八日

月並御礼有之

銀馬代 年頭

同 同

箱肴 病後

年頭御規式相濟候^ニ付

〃

三束一卷 年頭

二束一卷 年頭

菖蒲革五枚 年頭

金五枚^ッ

大坂御目付

代り 藤掛采女

松平半兵衛

高田御目付

代り 大嶋雲四郎

大河内又兵衛

御代官 由比長兵衛

同 設楽太郎兵衛

同 同

箱肴 参上

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

日光御門主

本郷半左衛門

小普請

諏訪因幡守

溝口帶刀

丹羽長門守

山下左七郎

松平金右衛門

三井寺惣代

久遠寺

豐藏坊

藤掛采女

松平半兵衛

大嶋雲四郎

大河内又兵衛

由比長兵衛

設楽太郎兵衛

上村清兵衛

江川太郎左衛門

吉川忠兵衛

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

本院御所附

御感狀御書式は御褒美被下趣家来之者^ニも於有之は委細書付可被差出候旨阿部豊後守堀田下総守諸士^江申渡之

京へ御暇

銀五枚

本院附

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

近藤彦左衛門

柳營日並記

天和四^甲 壬午

二月御用番

廿八日改元貞享

阿部豊後守秋元撰津守本多淡路守彦坂老岐守甲斐

庄飛驒守大岡備前守大澤佐兵衛戸田又兵衛

朔日

御座之間

伊勢掃り

織田隼人正

右 御目見

一 辰后刻御黒書院^江 出御 緋御装束也

御太刀 永井相模守 御劔 花房丹波守

日光御札

島山飛驒守

同 御鏡

吉良上野介

久能御札

島山民部大輔

同 御鏡

由良信濃守

右順々^ニ御頂戴相濟

（牛王巻数 銀馬代 三束一卷）

日光御門跡

右献上 御對顔相濟其外上野出家衆御札如例年

銀馬代 妙法院御門跡使者 巻数 菅谷大輔法印 御薫物 毘沙門堂御門跡使者 御札 清水内匠 二束一卷

二 日

米津周防守於大坂去月廿五日死去

三 日

御目付 戸田又兵衛 小十人組 小田切喜兵衛

右は長崎^江御用^ニ付可被遣旨被 仰付候

四 日

山田奉行 桑山下野守 御書物奉行 池田勘兵衛

右は老衰^ニ付願之通御役 御免之旨

一式日寄合加賀守出座

一水戸少将殿御簾中^{ヨリ} 去為歳暮之御祝儀時服二且又 為年始御祝儀三種二荷以使者被献之旧冬差合^ニ付及今 日

五 日

時ふく二

妙法院使者 菅谷大輔法印

同

毘沙門堂使者 清水内匠

右は御暇^ニ付被下之其外去^ル朔日御札之分御暇拝領 被 仰付候

御側御小姓へ

桐間御寄より 岡部喜左衛門

右之通被 仰付候

一 今晚三丸へ被為 成候

一時服三ツ 山門惣代 日光山惣代 顯寿院 櫻本院

一時服三金一枚 德寿院

一同二金一枚 松高院 一時服二 最樂坊

一時服二銀拾枚ツ 鞍馬 妙寿院 八幡 豐藏坊

一時服二ツ 竹主備 八幡山惣代 同所神人惣代

伏見御香宮神主 吉祥院 井閑坊 谷村茂左衛門

三木式部 使僧 多賀不動院 使僧 遠州見付町

一銀五枚 上村清兵衛 先規之時服二被下之

六 日

一銀廿枚 狩野永真 一同五十枚ツ 同洞雲 同養朴

一銀三十枚ツ 同探信 同探雪

右は去年御繪被 仰付為御褒美被下之

七 日

（纏子廿巻 二衛三種）

右は帰國^ニ付差上之

一住吉具慶事銀五拾枚被下之是去年御繪依被 仰付

御褒美也

八 日

上野^江 御名代

阿部豊後守

九 日

來月公家衆參向^ニ付御馳走人被 仰付

勅使

本院使

新院使

有栖川宮

実相院御門跡

竹内御門跡

一越後国高田領三万石 藤林長兵衛

藤左衛門 肥後 天草 永田七郎左衛門

右御代官被 仰付之

十 日

已刻御黒書院^江 出御

（時ふく十 羽折）

時ふく十 御暇

（銀百枚 時ふく十）

時ふく十 御暇

同五 御暇

同三 御暇

同三 御暇

同五 御暇

銀馬代 御暇

同 御暇

御座間^ニ而 本院御所へ之御用被 仰合 時ふく三 羽おり

金三枚 御暇

金三枚 御暇

金三枚 御暇

同 御暇

同 御暇

同 御暇

同 御暇

同 御暇

同 御暇

同 御暇

同 御暇

同 御暇

同 御暇

有馬左衛門佐

太田原備前守

前田右近太夫

金森出雲守

松平對馬守

毛利駿河守

山城 河内 丹波 播磨 丹後 小川

真田伊豆守

戸澤能登守

津輕越中守

諏訪因幡守

奥田美作守

永井万之丞

森 對馬守

松平内記

對馬守二男

松平直次郎

福原猪之吉

神尾伊豫守

加々爪次郎右衛門

有馬宮内

筑後守事 忌中^ニ付無登 城

板倉主税

幸宮子 志摩守子

町野酒之丞

松平勘介

左京子 津輕采女

甚左エ門子 高木長太夫

勘右衛門子 佐藤勘右衛門

左太夫子 井上半十郎

采女子 藤懸宮内

同ツツ
隨居之御礼

板倉安身
町野幸宣
青木遠江守
遠山空貞
小出宗薫

此外継目之御礼

金馬代ツツ

二郎左エ門事
駒井内匠 一
小出伊織 九
黒川与左衛門三
喜多見茂勝 四
六左エ門子
長田甚左衛門七
忠兵衛子
土屋平十郎 十四
土屋万五郎 十
彦七郎養子
米津勘次郎 廿六
九郎左エ門子
安藤九郎左衛門六
伊与守養子
津田三左衛門二十
遠江守子
青木新五兵衛二
傳右衛門子
安藤郷左衛門五
空
雲興養子
吉左エ門養子
池田市丞(日記記は十二)
甚左エ門子
高木四郎右衛門 十五
主馬子
木下主殿 廿一
吉左エ門子
古田五郎右衛門 廿二
小右衛門子
神原権七郎 廿三
四兵衛子
神原庄右衛門 十五前
助之進二男
松平善次郎 十七
六郎左エ門子
若林長十郎 十六
忠兵衛子
辻 忠兵衛 十三
傳九郎子
高屋傳八郎 廿七
六郎右衛門子
久留十左衛門 廿五
久左エ門子
幸匠次男
町野求馬 十八
雲真二男
遠山半右衛門 十九
伊兵衛子
山崎孫四郎 十一

同

銀馬代ツツ

銀馬代ツツ

右廿八人也

左弘行御脇差 代金拾枚

板倉安貞

十一日

辰下刻二丸へ渡御桂昌院様被為入御能有之

御能組ハス

白樂天 觀世(助右衛門 六藏) 市右衛門(彦九郎 市右衛門)
田村 七太夫 太右衛門(兵右衛門 新右衛門) 六郎左衛門
源氏供養 将監(清次郎 市郎兵衛) 庄兵衛
鶴 七太夫 十右衛門(助右衛門 新右衛門) 市右衛門
車僧 十太夫 源七(兵右衛門 又次郎)
山姥 金春 十右衛門(助右衛門 新右衛門) 又次郎
乱 九郎 太右衛門(市郎兵衛 清次郎) 庄兵衛
宝槌 仁右衛門 比丘尼 長太夫 花折
佐左衛門

十二日

加藤内蔵助連領之儀奉願置候處達上聴内蔵助事
常々美軒等動有連領二万石無相違御孫太郎
相統被仰付井水口城地も御預被成

加藤孫太郎
加藤内匠

右被為 召父内蔵介跡式無相違被下且又孫太郎弟内匠可
被 召出之旨老中傳之

筋違橋石垣築直
淺草橋同
稻葉出羽守組
瀧川長門守組
秋元隼人正組
松平但馬守組
太田甚四郎
佐々喜三郎

右之通御普請奉行被 仰付候

小林理右衛門

右父代番被 仰付候

老衰付
一式日之寄合山城守出座
一代官町御藏御普請付本多備前守組齋藤左源太青山
信濃守組嶋弥左エ門兩人奉行被 仰付之

十三日

御手目
御召之羽折被下
牧野美濃守

右於 御前閑宿 御暇被下之
但今度初 御暇也

一 今日連哥師共御暇如例年

一 銀廿枚時服二羽折 昌陸法眼
一 銀十枚時服二羽折 紹因
一 銀十枚時服二ツ 昌純昌億
一 銀十枚 昌益

十四日

土御門より以使者已日御祓進上之

一 本院御所江段子五巻料紙箱被進之神尾伊豫守近日
依帰持參之

十五日

月次之御礼有之

時ふく十 今度私用有二付 被着直儀
箱肴 病後 參府
一 束一卷充 年頭 妙心寺内 毛利權二郎
一 束一卷 同 修復御礼 知恩院方丈使僧
一 束一卷 同 入院 麟祥院
同 修復之御礼 三州鳳来寺學頭
箱肴 參上 信光明寺 同 医王院
同 近山六左衛門 松應寺
扇子 東本願寺家来 七里道専 八木采女

此外遠国寺社一同進上物献之御礼

縮緬二十巻 天鷲絨十巻
京都帰 高家 高嶋四郎兵衛
大澤右京太夫

右 御目見

一 水野豊前守岡崎へ御暇二付時服四羽折被下之豊前守
去退後父右衛門太夫出席御礼申上ル是今度初 御暇
一 有馬宮内越後村上より帰謁 竹生嶋 妙覚院
一 一束一本ツツ 觀音院 日光山衆徒
一 巻敷 養源院使僧 熊野本宮
一 御蔵 坂本主馬 竹坊奎
一 一條五居 富士村山 富士村山
一 山櫛皮 葛山与兵衛 一 藤灰 辻之坊
一 土御門兵部少輔使者白井右京御暇二付白銀五枚被下之

十六日

土屋相模守

本多淡路守

右は老万石以上之領地并寺社領御朱印可相改之旨被

仰出候

一 高家上秋伊勢守事去ル十四日夜自害是先年禁中江上

使ニ參候節俄煩申候幸竹田教庵療治致候処教庵所司代

稲葉丹後守江申候は伊勢守煩狐疑之姓之由申候ニ付上

使故其段御老中江申来扱気分本服ニ而勢州被下候へ

共狐疑之姓故

御前江は如何之由ニ而引込罷在候処十四日夜自害故子息

脇差を取而申候得は未死切不申候故近所御目付大岡弥

弥右衛門掛御目度由ニ而弥右衛門呼寄せ候処ニ伊勢守

申候は乱氣之姓ニ罷成引込罷在候段迷惑仕候書置を

も仕切服仕候はは弥乱氣ニも罷成又は跡式之処ニ願有

之様ニ罷成候得は乱氣ニ而は難立候故直ニ御手前江乱

氣ニ而は無之御断申候とて相果申候

一 松平縫殿頭御座間へ召之大阪御城番被 仰付御加増老

万石都合一万六千石 被成下

一 評定所申渡有之所謂

矢野十左衛門 西川八右衛門 伊東伊左衛門

右三人之輩片桐主膳正先祖江從公儀御預之者也今度依

願有之阿部豊後守迄訴訟差上之付而御■議之内三人

共ニ九鬼和泉守江御預也大目付林信濃守申渡之寺社奉

行水野右衛門太夫板倉伊与守坂本内記両町奉行甲斐庄

飛騨守北條安房守御目付中根主税小倉半左衛門出座也

十七日

紅葉山江 御名代

欠 日光御目付代

片桐主膳正家来

村瀬伊豫守

矢野平左衛門

此三人片桐主膳正江

権現様御代より家来分ニ御預被成候処ニ自分願書ヲ以

御訴訟申候ニ付御詮儀之上三人とも九鬼和泉守江御

預被成候旨於評定所ニ昨日被 仰渡之

十八日

十八日

欠 葉室大納言

右は神事ニ付不屈依有之去月廿二日於京都閉門被

仰付候

上使大久保加賀守

東本願寺

本願寺家老

右は御暇ニ付被下之

十九日

大久保淡路守

右被為 召高田様十三回御忌ニ付明後廿一日於天徳寺

御法事勤番被仰付候

欠 加茂宮庄右衛門

右同断日記役被 仰付候

一來廿一日就天崇院殿十三回忌於天徳寺法事被 仰付之

因茲為法事料白銀二百枚米五拾俵被下之

一 未刻三九 渡御

一 未刻三九 渡御

廿日

上野 御名代

戸田山城守

御書付ル

一 覚

一道橋ニ而古かね一切賣買仕間敷候若賣買致もの有

之候はは其所之辻番とらへ奉行所出江へし見遁し

申におゐては可為同罪事

一 惣而はつしかね并銅瓦鉛瓦銅樋自今以後一切賣買

仕間敷但賣買仕間敷但賣買仕不叶ものは奉行所

江可相断事

一 古着其外古道具賣買之儀は請取ヲ取賣買可致

事

右之通於相背は可為曲事者也

一二月

一天崇院殿御法事今未刻ヨリ於天徳寺執行始付而寺社奉

行板倉伊与守御目付松平孫太夫并御徒目付二人御小人目

付四人相越

廿一日

廿一日

欠 戸田右近大夫

同姓但馬守次男 戸田彌正

右は願之通養子被 仰付候旨於戸田山城守宅申

渡之

廿二日

廿二日

辰刻二九江 渡御 御臺様姫君様被為 入御能有之候

御臺様江

縮緬廿卷

鶴姫君様江

八丈嶋廿反

御袋様江

綿百把

右之通被遣之

一 式日評定所ニ而片桐主膳正組与力三人御詮儀有之

一式日寄合加賀守出座當日之儀相濟以後豊後守戸田山城

守出席有而今度片桐主膳正与力三人訴状捧之付而其趣主

膳正江御尋之儀有之仍今日令出座寺社奉行四人水野右

衛門太夫板倉伊与守坂本内記本多淡路守大目付一人秋

山修理亮町奉行兩人甲斐庄飛騨守北條安房守御目付式

人宮城主殿松平孫大夫侍座右畢而先頃九鬼和泉守へ御

預之与力三人西川八右衛門矢野十左衛門伊藤伊左衛門是

又召寄之件之旨趣老中尋問御徒目付十人小人目付十六

人評定所へ相越

一 老中退散之以後申渡之儀有之今度佐竹右京大夫家從豊

田武左衛門義新石町両替屋吉右衛門手代之者令殺害之

其仕形不宣付而切腹依之右京大夫留守居谷田部郷左衛

門評定所江呼寄之寺社奉行本多淡路守申渡之両町奉

行御勘定奉行列座有之右之場江為檢使御徒目付岩室

伊右衛門朝倉新五兵衛相越

廿三日

歳暮之御内書出^ル
御一門方始
諸大名江

西丸御裏門番頭
三宅大學跡
御廣敷番之頭
豆州御代官
伊奈兵右衛門跡

右之通被^ニ仰付候

右は屋敷被下之

金貳枚
時ふく二羽折
同断

右は永々相勤^ニ付御役

御免被成且為御褒美被下之

阿部志摩守組
池田帯刀組
安部助九郎

右は屋敷改被^ニ仰付候

右は宇治^江可被遣旨被^ニ仰渡之

時ふく二

銀十枚
同四
金老枚
時ふく二
時ふく四ツツ

同二ツツ
同ツツ

銀五枚

右之通御暇^ニ付被下之

廿四日

増上寺^江 御名代

廿五日

右は到着^ニ付被遣之

西丸御裏御門番
龍勢半左衛門組与力

右之通被^ニ仰付候

片桐主膳正与力矢野十左衛門西川八右衛門伊藤伊左衛門事於評定所追放被^ニ仰付候

評定所申渡

右三人事萬端主膳正不得差圖之儀不屈被^ニ思召江戸

追放被^ニ仰付者也

廿六日

御留守居
山田奉行
桑山下野守跡
御鉄炮頭
松平長三郎跡
清水奉行
石丸五左衛門跡
二條御城番
筒井次左衛門跡

大御番頭
寄合
柴田和泉守
岡部角左衛門
石尾七兵衛
小十人頭
渡辺孫助
新御番組頭
曲渚市太夫

右之通於^ニ御前被^ニ仰付候

廿七日

御黒書院 出御

銀百枚
綿二百枚
金十枚
時ふく五

参勤
離日
井伊掃部頭
加藤孫太郎
三浦老岐守
酒井河内守
酒井右京亮
松平因幡守
山口修理亮
松平備前守
屋代越中守
那須遠江守

阿部豊後守

上使桑田七左衛門
井伊掃部頭

杉浦内藏允組
本多新五左衛門

右差上之

一 井伊掃部頭より参府献物

御臺様へ 銀三十枚 桂昌院様へ 紗綾十卷

姫君様へ 銀十卷

女中へ銀五枚三枚充贈之

一加藤孫太郎継目^ニ付献物

御臺様へ 銀十枚 女中へ五枚二枚式枚充

一 御代初^ニ詰衆々寺へ半年代之御暇被^ニ仰出雖然在邑在

江戸之儀可為勝手次第之旨面々へ一同豊後守申渡之

廿八日

箱者
病後
一東一本
御札御香水
一東一本
一東一卷
一東一本
輪番代
入院
同一行方
下谷
能州惣持寺惣代
宇佐大司
鞍打
筆屋
筆五十對

松平相模守
新善法寺
八幡社跡
高野字呂方
新善法寺弟子法眼行清
隋心院
祥巖院
廣徳院
慶徳寺
宮城彈正忠
伊勢印齋
小法師石見

一 京都より次飛脚到来去 廿一日依吉辰年号改元定之陣儀被^ニ行之為貞享元年之旨傳奏衆被相達之由稲葉丹後守注進之依之

渡邊半二郎 十

松平修理亮 五

高木大學 十一

藤堂主馬

戸田又兵衛

小田切喜兵衛

加藤藏之介

今日年号改元貞享之由御一門方并諸大名以下出仕之面々被仰渡之

大廣間江渡御御羽折御荷於落縁阿蘭陀かひたん御

目見也但川口源左衛門召連之葵番者披露之

献上物

- 一 猩々緋 一反 一 白大羅紗 老反
- 一 黒大羅紗 同 一 同紅小羅紗 同
- 一 羅背板 同 一 阿蘭陀金入 式卷
- 一 金入綿 式卷 一 ころ地金入 同
- 一 紺地金入 老卷 一 金入紋紗 三反
- 一 色天鷲絨 老反 一 上奥しま 百反
- 一 朽葉色天鷲絨 一反 一 弁柄嶋 五十反
- 一 三崩嶋 五十反 一 海黄 五十反
- 一 小カナキン 五十反 一 大花毛氈 式反
- 一 紗綾 五十反 一 香敷 三枚
- 一 かせれあれち嶋 三十反 一 丁子油 小ふらすこ一箱
- 一 沈香 老本 一 蒲萄酒 老斗
- 一 ひいところ大鏡 二面
- 一 珎陀酒 老斗

以上

於御白書院落縁阿蘭陀人四人とも上覽語御聴聞
牧野佐渡守ヲ以風俗等事御尋

時ふく三宛

高野学侶方
同行人方
一 赤松院

美濃江
御暇
甲斐庄四郎右衛門

右御暇被下之

星敷改
小幡三郎左衛門
蜂屋半之丞

右為御褒美被下之

廿九日

高田様御法事相済候ニ付天徳寺江銀貳百枚米五十俵被遣之

一 歳暮之御内書細川越中守有馬中務大輔へ被成下之両使者
へ時服二充被下之且先頃差合付及今日

柳營日次記

貞享元甲子年

三月御用番

戸田山城守堀田對馬守水野右衛門大夫内藤出羽守北條安房守中山隠岐守中根主税須田与兵衛

朔日

御黒書院江出御也

銀五百把
御暇
上使阿部豊後守
松平丹後守
松平大隅守
名代織田因幡守

同三

嶋津式部少輔

金十枚

松平縫殿頭

時ふく三

石川主水

同

加藤内匠

金五枚

植村土佐守

時ふく三ツツ

本多紀伊守

御折

西尾藤四郎

銀十枚

長田喜左衛門

時ふく二ツツ

大久保弥右衛門

同

小倉孫太郎

銀十枚

羽太権兵衛

金三枚

飯田惣左衛門

時ふく三

本間忠左衛門

同

太田善兵衛

銀十枚

御番衆九十式人

金三枚

横山内記

時ふく三

石河藏人

同

西尾助之進

同

長田数馬

銀十枚

浅井権十郎

金三枚

伊丹権太夫

時ふく三

山角内記

同

萩原太郎佐

都筑三左衛門
美濃部与一郎

林 春常

人見友元

森 新兵衛

本目勝左衛門

中村平右衛門

右は今度 御朱印御用懸被 仰付之候

今度被 仰出服忌令詰衆并諸番頭諸物頭諸役人へ於當

中傳達服忌令別出

二 日

今朝堀田下総守宅江諸大名家来招之服忌令之書付渡之

銀十枚 御被官大工 谷田又兵衛

右は日光被遣候江付被下之

井伊掃部頭御屏風一双御掛硯一双并御肴一種献之

三 日

辰后刻御黒書院江 出御甲府殿御礼御白書院江

渡御 御刀 永井相模守

尾 張 殿

水 戸 殿

紀伊中将殿

水戸少将殿

右御礼次ニ

井伊掃部頭

松平讃岐守

保科肥後守

堀田下総守

御礼終而

松平左兵衛督

松平近江守

右御目見大廣間江 出御之節大廊下ニ而 高家詰衆御奏

者番諸役人一同御礼大廣間江 出御

松平加賀守

松平左京大夫

松平撰津守

松平出雲介

松平豊後守

松平淡路守

松平長門守

松平大和守

次ニ四品大名 御目見畢而御襖障子明之諸役人一

同御礼

四 日 評定所 豊後守出座

右御参府ニ付罷遣之

改元ニ付惣飛脚

右ニ付赦之仰出五日ニ留有之

五 日 御藥物信国 代金十五枚

右は服忌令相改骨折ニ付被下之

大御番頭 柴田和泉守跡

小十人頭 渡辺孫助跡

右之通於 御前被 仰付候

時服三十御暇

銀五枚

立合申渡 林 信濃守

田中孫十郎 川口源左工門

時ふく三

同ニ

同

同

十枚

年号改元ニ付御科御免之面々

四日也

一

右三人

元御書院番水野長門守組於駿府

三總江参不返ニ付改易

梶山 右小細工奉行相勤勉支配之者不届ニ付改易

被仰付処御免

兩人追放之処被差免

右之通御科 御免也

籠舎之者三十七人放免

六 日

御座之間

御臺様へちりめん廿巻

桂昌院様へ 十巻

姫君様へ 十巻

御製斗始御手自被下之

御馬

御鷹

時服十

百枚

時ふく十

同五

同四

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

觀世新九郎

同 権九郎

尾張中将殿

尾張中納言殿

松平撰津守

松平出雲守

松平讃岐守

松平主殿頭

松浦肥前守

松平伊賀守

石川若狹守

小堀和泉守

石川美作守

永井日向守

渡辺半蔵

生駒主計

津田九郎左衛門

服部仁左衛門

成瀬吉兵衛

齋藤右源太嶋弥左エ門小出伊織大道寺權衛太田甚四郎

佐々木喜三郎

右六人御普請御扶持方被下

七日 花山院大祥 覽地大納言

甘藷寺大納言 平松南中納言

勅使両院使有栖川殿実松院曼珠院領御門跡到

着ニ付為 上使堀田筑前守吉良上野介被遣之

御暇銀五枚 御鷹屋 徳右エ門

八 日

上野江 御名代

大久保加賀守

一 去月十六日伊豆大嶋山中より焼出峯^江焼上り蠟

流之如く海^江焼流其焼土かたまり候処海上長サ七八

丁ほと山^二成横は四五丁有之処も有り右山之焼闇大

嶋之在家鍋釜杯損申候十六日より廿七日迄焼申候

由伊奈兵右衛門住進之^{（日次記は正巻）}

九日

（日次記は御太刀）
御刀
喜多見若狹守
御刀
齋藤飛騨守

已刻御白書院^江出御^{御装束}紅御直垂^{御譜代大名御次間}^二

同公公家衆^{御對顔}

本院^{御太刀目録}

金三枚

本院^{金貳枚}

新院^{金貳枚}

東宮^{同老枚}

中宮^{同断}

右年頭御祝儀^{御頂戴相済}

御臺様へ^{御代替御礼}

ちりめん五卷^{箱肴}

断^{箱肴}

同^断

同^断

同^断

同^断

同^断

同^断

同^断

同^断

同^断

同^断

同^断

同^断

同^断

同^断

同^断

同^断

二条中納言殿使者

青蓮院使者

大谷兵部卿

中西内匠

新大藏

鈴鹿左近

美濃代^{東儀阿波守}

木村筑後守

甲府殿

尾張中將殿

紀伊中將殿

尾張中納言殿

水戸少將殿

右同断^二付御見物之儀被^{仰遣之}

高家衆^{以公家衆^江御樽肴被遣之}

有栖川兩僧兩院使へ御樽昆布西門跡へ畠山民部大輔

辰刻大廣間^江出御^{御長持}公家衆^{御對顔畢而}甲

府殿御三人方御譜代大名衆伺公之面々^{御目見過堀田}

對馬守舞臺^江出御能可初旨傳之

三番過^而腰脚廣蓋對馬守傳之^{御中入御饗應有之}

但尾張殿は不快^二登^{營無之}

御能組

翁三番叟

高砂 觀世 十郎右衛門

田村 七太夫 太郎右衛門

東北 金春 六郎次郎

紅葉狩 九郎 源七

祝言 式部 太郎右衛門

福の神 長太夫

清水 仁右衛門

一有栖川兩御門跡御薰物進献らる

御太刀
喜多見若狹守
御刀
永井相模守

已刻御白書院^江出御^{御装束}紅御直垂^{勅答被}仰出則公

家衆御暇被^{仰出}

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

（銀二百枚）

十二日

式日評定所加賀守出座

（銀五百枚
綿五百把
時ふく十

上使
堀田筑前守
島山飛騨守
有栖川殿
新大蔵

銀十枚

右之通被下之

（銀三百枚
綿二百把

実相院御門跡
法眼岸坊
法橋式部卿
岡本織部
宇田内蔵
佐野主水

銀十枚
ツツ

（銀三百枚
綿式百把

同家来
曼珠院御門跡
千種刑部卿
山本右京
西池主膳
百々内記
山本采女

銀十枚
ツツ

御臺様江
御留守居番三浦八兵衛を以

時ふく十

右之通被遣之

尾張殿江御土産

公方様江

唐銅 御砂物鉢壹

姫君様

風鈴

右之通被進之

（日次記は百石ツツ）
花山院中将梅園侍従へ方領百石と被遣之

十三日

公家衆門跡方今朝上野増上寺江参詣也

右大御息
花山院中将
幸相息
梅園侍従
三位息
久世侍従

右之面々江百石ツツ領知被下之

上野大沢右京大夫由良信濃守日野伊与守坂本内記

大沢左兵衛

二王門車坂 本多中務大輔

御宮惣門 増山兵部少輔

御宮廻 佐野内蔵允組共

仁王門屏風坂 牧野因幡守

御堂廻 佐野内蔵允組共

新二天門 大久保安藝守

新御堂廻 助神尾飛騨守

増上寺 稲生七郎右衛門組

吉良上野介畠山飛騨守畠山民部大輔板倉伊与守

松平孫太夫 山門石橋表門 牧野駿河守 裏門 石川美作

守 御仏殿 中山平右衛門組共

十四日

右は組中引渡有之

去ル二日宇治池殿町江出火子刻迄焼失町数拾老町

家数貳百八拾三軒茶師類焼武田道雲堀真朔吉

村道川村宗碩山中瀬兵衛松村弥右衛門武田藤右衛

門葉菌も少々焼失之由注進之

右願之通御役御免之旨

御暇時服式 紀黄門使 九鬼四郎兵衛

御膳方御臺所組頭 鈴木才兵衛

右病免

御弓御鉄炮与力同心如例御花畑的被仰付旨御先手頭へ達

十五日

月次御礼有之

東門跡使
栗津庄兵衛
二種一荷 先比参府御礼
高田掃り

午刻三丸江渡御也

召鉄炮与力同心於御花畑烟的可被 仰付旨被 仰渡之

面院使発足三付御馳走人太田原備前守前田右近大夫登

城

十六日

今朝公家衆門跡方発足依 御馳走人登 城也 有馬左 衛門佐

金森出雲守 松平對馬守

毛利駿河守

上使山城守

紀伊殿江

右御到着二付被遣之

十七日

紅葉山江御名代

大久保加賀守 佐久間宇右衛門

右は日光御目付代被 仰付之 御小姓組 牧野伊豫守組 興津久七郎

右は去 二日親類方 参候由 罷出行衛不知候令

言上候処父内記 可尋出之旨被 仰出之

十八日

御座之間

（銀五十枚
小袖三十
わた百把

御臺様へ
銀五十枚
桂昌院様へ
（ちりめん廿巻ツツ
姫君様

右御目見依之御三家御登 城御黒書院江出御

箱者 病後

銀馬代 参府

同 小袖五

銀馬代 切付二口

（銀馬代
時ふく三
ツツ

紀伊殿家来

三浦長門守

織田源七郎

稲葉市正

中川因幡守

加納平左衛門

銀馬代

芦川甚五兵衛

有馬清兵衛

小笠原長左衛門

小倉忠兵衛

坂部惣太夫

渋谷市右衛門

御勝手より

(金五枚
時ふく三羽折

京都御暇

佐野修理大夫

(時ふく三
羽折

同

岡部伯耆守

(金十枚時ふく二
羽折

佐渡へ

松平主馬介

銀馬代

初見

鈴木三郎九郎

紀伊殿

御目見

佐野喜太夫

御臺様

江

姫君様

江

銀五十枚

わた百把

縮緬廿卷

桂昌院様

江

縮緬廿卷

一種二荷

婦城之御礼

御座之間

欠

酒井河内守使者

箱者

閑宿帰り

牧野美濃守

右 御目見

御勘定大河次郎大夫致乱氣自害致候

十九日

右被為

召同姓撰津守氣色々御尋人參貳斤被下之

旨筑前守達之

粟津庄兵衛

右御暇

二付被下之

来^ル廿一日^ハ御的可初旨御弓鉄炮之頭^江被^江仰渡之

表火之番

宇木甚右衛門

山岡伊右衛門

渡辺弥五左衛門

財津市大夫

田澤市右衛門

廿一日

上野^江

御名代

右は奥火之番被^江仰付候

西尾隱岐守宅^江老中招請所替之御礼

今日御花畑^{ニテ}御弓御鉄炮与力同心の初^ニ付

御持弓

御目付

松平与次右工門組

御花畑^的

御目付

中根主税

廿四日

増上寺^江

御名代

戸田山城守

廿五日

右は御暇被仰遣之

上使阿部豊後守

尾張殿^江

瀬尾正縁

右は御側医師被^江仰付之

未刻三丸^江被為^江成^江桂昌院様^江新屏風一雙被進

之

御花畑的

御弓蜂屋七兵衛組渡辺弥之助組

御目付

孫太夫

廿六日

尾張殿御登

城於西湖之間御料理出於

御座之間

顔御熨斗御鷹三居御馬三疋拝領之相済御黒書院

出御^江

(綿百把

金馬代

松平伯耆守

右同断

參勤

松平薩摩守

(綿百把

時ふく三

秋月長門守

箱者

病後

阿部對馬守

(羽折

時ふく六

竹腰阿波守

御暇

尾州^江

山澄将監

(同四

同ツ

阿部縫殿

(同三

同

水野内蔵介

右御暇

二付被下之

小瀬新右衛門

銀馬代

參府

井野口六左衛門

大開勘右衛門

岩瀬吉左衛門

梶川与惣兵衛

村越伊豫守

紀伊殿御土臺^産

日光御目代山口忠兵衛子

御臺様^江

御鞍鍔

五掛

御料紙はこ

鶴姫君様^江

御小屏風一雙

御硯はこ

桂昌院様^江

御脇息

御脇息

御脇息

御脇息

御脇息

御脇息

御脇息

御脇息

御脇息

御脇息

御脇息

御脇息

御脇息

御脇息

御脇息

御脇息

御花畑の 御弓 布施孫兵衛組 御目付 大岡弥右工門
井戸三十郎組

廿七日

於 御前^ニ

御書院番頭
御小姓組番頭
森川下野守跡
御小姓組番頭
松平但馬守跡
火消役
三枝右近跡^江
御小姓組番頭
火消
三枝右近
松平采女

右之通被 仰付之

大坂加番

鳥居左京亮
小笠原土佐守
酒井石見守
新庄主殿

右之通被 仰付候

壹万五千石内

米津出羽守
同 伊勢守
同 周防守

壹万貳千石

三千石

右之通跡目分知被 仰付之

御花畑的 御弓本多作右工門長谷川久三郎 御目付宮城
主殿

尾黄門帰国御暇^{ニ付^而} 御臺様々時服十塩雁^ニ被遣之御使

宇津野作之丞

廿八日

御黒書院^江 出御月次御札

御白書院

高野
無量壽院
佐州
国分寺
柘植傳兵衛

三東二巻
後住之御札
一東一卷
御修禊之御札
時服三
福嶋^江
羽折
御暇

御座之間

御馬
尾州^江
御暇
大坂御暇

右は於大坂太田摂津守煩大切^ニ付彼地^江 御暇被下之
(時ふく五
羽折
右は奥方御普請出来^ニ付被下之

大久保佐渡守

御臺様々時服五塩雁^ニ松平摂津守へ被遣之御使御廣敷番
頭富永喜三郎

廿九日

尾張殿今朝発足渡辺半蔵登 城也

松平但馬守

三枝右近

右組中引渡有之

右は松平縫殿頭^江 大坂引渡^ニ可被遣候旨被 仰渡之

御定番

新番神尾市左工門組与頭組頭
曲洲市大夫跡
拂方御納戸組頭
富永喜兵衛跡
同 浅井猪右衛門跡

神尾市左衛門
松下半六郎
榊原作大夫
久松勘右衛門
曲洲市大夫

先頃 三百石之
御加増之御書出被下

御成橋之内松平大和守上屋敷 石川美作守へ被下美作守

屋敷 堀田對馬守 被下之對馬守屋敷は御用地 成

小倉大納言於佐州去十八日病死勅勘之儀候条傳奏衆へ

可相達旨 上意之趣稲葉丹後守へ飛札

御花畑 御弓 大久保喜六郎 御目付 平野九左工門
伏見勘七郎

晦日

新番組頭

右組中引渡有之

金武枚 ツツ

須田次郎太郎
駒井半右衛門

右は奥方御普請出来^ニ付被下之

堀田下總守

右は内室煩大切之由被聞召人參一斤被下之於 御前筑

前守拝領之

御花畑 御弓 鳥居久大夫組 御目付 小倉半左工門

貞享元年三月朔日

服 忌 令

一父母 忌五十日 服十三月

一離別之母 忌三十日 服百五十日

一嫡母 忌三十日 服九十日

父存生之内にて又死去の後にても他へ嫁せずして死去

之節は妾の子可受服忌又父存生之内離別其後本妻死去

の時 是妾の子不可受服忌

一繼父 忌十日 服三十日

一繼母 忌十日 服三十日

父死去の後他へ嫁して死去の時 是不可受服忌

一養父母 忌二十日 服百五十日

遠跡相續の時 是実父母のことし 此時本姓の方不残半減の

可受服忌

養父死去の後養母他へ嫁して死去の時 是養子不受服忌

此後実母死去の節は本親へかへり実母の可受服忌

一夫 忌三十日 服十三月

一妻 忌十四日 服九十日

一嫡子 忌十四日 服九十日

女子は最初に生れても末子に准ず

一末子 忌七日 服三十日

一養子 忌三日 服五日

家督相續の時 是実子に同じ

一夫之父母 忌二十日 服九十日

一祖父 忌三十日 服百五十日

一母方 忌二十日 服九十日

一曾祖父 忌二十日 服九十日

一高祖父母 忌十日 服三十日

一伯父叔父 忌二十日 服九十日

一母方 忌十日 服三十日

一姑 忌二十日 服九十日

一母方 忌十日 服三十日

一兄弟姉妹 忌二十日 服九十日

別腹たりといふ共服忌に差別なし

一異父兄弟姉妹 忌十日 服三十日

一嫡孫 忌七日 服三十日

娘方の孫 忌三日 服七日

女子は最初に生れても末孫に准す

一末孫 忌三日 服七日

一嫡孫承祖 嫡子と同じ

祖父母も実父母に准す

一従父兄弟 忌五日 服七日

父の姉妹の子 母方 忌三日 服五日

一甥姪 忌五日 服七日

姉妹の子忌三日 服五日

一聞忌之事

遠国におゐて死去年月をへて告来時、父母は聞付る

日より忌五十日服十三月其内閏月をかそへず縦、今年

の二月死すれ、来年の二月中、着服也外の親類、忌の

内に告来、其残る日数忌へし服忌の日数過、而告来

時は無服にして半減の忌を受へし

一重る服之事

父の服はまた不明内又母の服有之、二年服を不可着

父の服二三月過て後母の服有之、母の死去の月より

十三月可着服重き服之内に軽き親類の服有之、服

を改に及はす縦へ、五十日の重き服の日数四十日過て

二十日の軽き服有之節、重き服の日数過て後右の軽

き服を着す式十日の日数、重き服の内よりかそへし

軽き服の内に重き服有之、其聞付る日より服を改其

日数可忌

一七歳未満の小兒自他共に無服但し遠慮

父母七日

外の親類 不残三日母方 聞忌不及遠慮

稼之事

一産穢 父七日 母三十五日 一流産 父三日 母七日

一血荒 行水次第 一死穢 行水次第

一踏令 行水次第

柳宮日次記

貞享元年

四月御用番

大久保加賀守稲葉石見守板倉伊豫守杉浦内藏允彦坂伯耆

守甲斐庄飛騨守能勢惣十郎平野九左衛門

朔日

月次之御礼有之

御定番

松平縫殿頭

神尾市左衛門

市兵部

富野左京

御宮 御仏殿へ 御堂へ初笋御進献

二日

午刻三丸 渡御

御花畑的 御持筒久水源兵衛組 御目付 須田市兵衛

三日

堀田下総守妻死去 付御悔使河内半兵衛被遣之

御花畑 御持筒山崎四郎左衛門組 御目付 松平孫大夫

四日

式日評定所山城守出座

式千式百石

内千七百石

五百石分知

前田孫市

同 新八郎

同 新五郎

右は願之通隠居被 仰付且又新五郎分知被 仰付新八

郎取来候四百依隠居領被下之

御花畑 御持筒落合源右衛門組 御目付 大岡弥右衛門

五日

碩学

隨心院

右之通被 仰付候

御花畑 御持筒夏目左衛門組 御目付 宮城主殿

六日

御花畑 御鉄炮百人組蒔田權之助 御目付 大沢左兵衛

七日

上使大久保加賀守

紀伊中納言殿

右来春竊姫様 御輿被為入旨依之紀伊殿登 城於

御座之間 御對顔御熨斗御手自被進之右為御悅御三人

方甲府殿、使者被差上之諸大名、番老中迄使者在

国之面々、以飛札御悅可申候

上使山渡守

松平加賀守

右為御札登 城於 御座之間 御目見御鷹二居御馬式正

被下之

銀百枚 銀式百把 御馬二疋

同 參勤

染皮二十枚 銀馬代

時ふく十 金馬代

同 三 銀馬代

染皮三十枚 銀馬代

雨鞍覆五 銀馬代

羽折二 銀馬代

染皮二十枚 銀馬代

染皮十枚 銀馬代

征矢二百筋 銀馬代

時ふく五 金馬代

初高 御目見

右同新 仰

金五枚 時ふく三 繼目

御太刀 時ふく六 御暇

羽折 同五 同

時ふく五 羽折 御暇

銀廿枚時服式 時服二ツ 御暇

坂城加番

鳥居左京亮

小笠原土佐守

奥村壹岐守

高野門首

室性院

國分寺

市兵部

富左京

南部大膳大夫

仙石越前守

小出備前守

遠山和泉守

鍋嶋撰津守

木下肥後守

分部隼人正

青木甲斐守

一柳土佐守

加藤右京

木下縫殿

朽木監物

伊達主馬

伊達遠江守

米津伊勢守

遠江守忌

伊達守忌

伊達守忌

伊達守忌

伊達守忌

伊達守忌

伊達守忌

伊達守忌

伊達守忌

伊達守忌

伊達守忌

伊達守忌

近日大坂進^ハ付

右於^ハ 御前御下知狀御黒印被下之

遺物

信國小脇差 代金十枚

右差上之

米津出羽守

松平縫殿頭

豊後守

松平安藝守^ハ

上使阿部豊後守

松平陸奥守

同 大久保加賀守

細川越中守

同 大久保安藝守

毛利甲斐守

右^ハ到着^ニ付被遣之

御花畑 百人組 水野半左衛門組 御目付 平野九左衛門

外科瀬尾昌宅御近仕之医師列可相詰旨

八日

上野^江御名代 戸田山城守

九日

岡本壽仙

右は日光御門跡近々御登 山^ニ付^而御供被 仰付之

松平縫殿頭

右は御加増御書出頂戴之

日光御宮

御名代

廿日 御名代

御祭礼奉行

由良信濃守

石川主殿頭

伊丹大隅守

井上筑後守

右之通被 仰付候

日野伊豫守

右去^ハ五日下午刻京都寺町通山口老岐守組与力屋敷^ハ

出火東風烈岡本土佐守類火^ニ付院參公家衆 春宮御所^江

火移不残焼失依之 上使被 仰付候

右之趣稲葉丹後守^ハ今日注進^ニ付

御花畑 御鉄炮 百人組 花房外記 御目付 中根主税

十日

大番

森川下總守組

美濃部權之助

右^ハ去年牧野遠江守^ニ御預山木忠右衛門去四日病死為
檢使被遣之

但金武枚人馬 御朱印被下之

美濃部權之助

立花飛騨守

宗 對馬守

右^ハ到着^ニ付 上使被遣之

春宮御所焼失^ニ付御三家甲府殿^ハ使者被差上之

諸大名は月番之老中迄可為使者由被 仰出之

加藤孫太郎宅^江老中招請之継目祝儀也

中山茂兵衛惣領十郎左衛門池田帶刀組^ニ御番相勤候処

常々不行跡^ニ付御切米差上度旨父願之通被 仰出

御花畑 御鉄炮 堀田五郎左衛門 御目付 平野九左衛門

十一日

来春竊姫様御入興之儀被 仰出右為御祝儀黃門^ハ

公方様^江

御臺様^江

三種二荷

二種一荷

桂昌院様^江

御袋様^江

一種五卷

二種千疋

右水野土佐守 以被差上之

公方様^江

安宮様^ハ

御臺様^江

一種一荷

桂昌院様^江

御袋様^江

一種縮緬三卷

一種五百疋

右は御内室^ハ武藤平左衛門^ヲ以被進之

金三枚

フツ

御暇

新御番神尾市左衛門組

右^ハ遠州權現山^江材木出候見分^ニ被遣候^ニ付被下之

御花畑 御鉄炮 井戸新右衛門 御目付 松平孫大夫

大坂^ハ次飛 去六日太田撰津守死去之由注進

十二日

式日評定所豊後守出座

御座之間

日光^ハ

御暇

由良信濃守

井上筑後守

伊丹大隅守

石川主殿頭

右御目見畢 御黒書院 出御

御臺様^ハ 銀五百枚

銀五十枚 御馬二疋

女中

わたし

三十枚

同

わたし

十枚

五枚

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

松平陸奥守

細川越中守

松平安藝守

毛利甲斐守

相馬弾正少弼

伊東出雲守

遠藤右衛門佐

六郷佐渡守

伊達宮内少輔

小出伊勢守

土方伊賀守

池田信濃守

九鬼大隅守

土方市正

伊東信濃守

秋月佐渡守

松浦老岐守

阿部對馬守

松平對馬守

柴田但馬

中山茂兵衛子

御書院番

池田帶刀組

中山七郎右衛門

右^ハ常々行跡悪敷^ニ付御切米差上御奉公引せ度之旨奉願

候^ニ付於大久保加賀守宅父願之通被 仰付之

日門登山^ニ付大沢右京大夫を以御菓子一箱被進之

御花畑 御鉄炮 天野弥五右衛門組 御目付 須田市兵衛

十三日

水野右衛門大夫
右 御前^江被為 召太田撰津守死去^{大坂へ罷越當分御事差廻}付可仕旨被^二仰付^一之

本多中務大輔宅^江為所替祝儀老中招請之囃子有之

御花畑 御鉄炮 坪内惣兵衛組 御目付 大岡弥右衛門

十四日

上使戸田山城守
佐竹右京大夫

右は到着^二付被遣之^一

御花園 御鉄炮 金田惣八郎 御目付 宮城主殿
水野甚五左衛門

十五日

月次之出仕雖有之少々御吹出物有之 御目見無之謁老
桐之間^ハ

欠
御小納戸^江
飯田十郎右衛門
仁科源五郎

右之通被 仰付候

上使大久保加賀守
松平伊豫守
同 阿部豊後守
上杉弾正大弼

右は到着^二付被遣之^一

十六日

為伺 御機嫌御三家甲府殿^ハ使者被差上之
上使戸田山城守
松平土佐守

右到着^二付被遣之^一

御花園 炮術 寛新兵衛組 御目付 小倉半左衛門
近藤作左衛門組

来年 御入典御用加賀守堀田對馬守先頃被 仰付処今
日柴田和泉守彦坂老岐守差添可相勸旨

十七日

紅葉山 御社参御延引
御名代 堀田筑前守 直重

奏者番 牧野因幡守
寺社奉行 板倉伊与守

坂本内記

大目付 林 信濃守

御目付 秋田平大夫

御徒頭 佐野内藏允組共

同朋 原田順阿弥

右伺公何れも装束

十八日

為伺 御機嫌御三家甲府殿^ハ使者被差上之

御座之間

幸宮へ
御破箱一面 金十枚
御絹廿疋 時ふく三 羽折

京都へ
高家
日野伊豫守

御臺所目付
関 文左衛門

右^ハ御褒美被下之 御免

有壁長右衛門

右為代被 仰付候

御花園 炮術 石尾七兵衛組 御目付 平野九左衛門
鳥居源七郎

十九日

日光御祭礼相濟^并為伺 御機嫌御三家甲府殿^ハ使者被差上之
上使石川美作守
森 伯耆守

右到着^二付被遣之^一

慶南息
佐藤慶庵

右之通被 仰付之

御花園 御鉄炮 松平新九郎組 御目付 松平孫太夫
土岐十左衛門

廿日

上野^江

御名代

堀田筑前守

御名代^二付豫参^一 寺社奉行板倉伊与守本多淡路守御目付^大
高木伊勢守御目付秋田平大夫御徒頭根来半左衛門組共

一 為伺 御機嫌御三家甲府殿^ハ使者被差上之且又諸番頭

登 城謁老中

御座之間

日光掃り

由良信濃守
伊丹大隅守

井上筑後守

右 御目見

廿一日

為伺 御機嫌御三人方甲府殿^ハ使者被差上之

御徒頭 宇治江
土屋主税
同 頭 中川立甫
御老屋坊主 御 徒 式人
銀拾枚 同 四十枚 八人

紀伊殿^江老中招請^ハ御祝儀
振着様御入典被 仰出
細井佐次右衛門組 御目付 松平孫太夫

一

御花畑 御鉄炮 間宮庄五郎組 御目付 松平孫太夫

廿二日

式日寄合山城守出座

銀十枚 呉服師
龜屋庄右衛門
上柳彦十郎
橋本平三郎

同

同

右御暇^二付被下之^一

御花晶 御鉄炮 宮崎織部組 御目付 大岡弥右衛門
山岡十兵衛

廿三日

為伺 御機嫌御三家甲府殿^ハ使者被差上之

廿四日

御座之間

日光掃り

石川主殿頭

右 御目見

表御番外科
曾谷伯庵

右被為 召御吹出物之御樣躰奉伺之

御花晶 御鉄炮 夏目藤右衛門 組 御目付 宮城主殿
加藤勘助

芝護^陸へ御代拝加賀守

美濃部權之助先日越後与板へ為候使被遣処帰參御預之

山木忠右衛門病死未届之段謁老

石川主殿頭日光帰謁

廿五日

為伺 御機嫌御三家甲府殿^江使者被差上之

柴田和泉守忌^二付同役被^江 仰渡之

元御書院番

兼松弥五左衛門

興津左衛門

西尾十右衛門

元小細工奉行

梶山加左衛門

右御赦免以後初^而登 城謁老中

御花晶 御鉄炮 水野藤右衛門 組 御目付 小倉半左門
筧五郎大夫

廿六日

御座之間

水野右衛門大夫

右畢^而 午刻御黒書院^江 出御

松平伊豫守

宗 對馬守

織田山城守

松平土佐守

佐竹右京大夫

上杉彈正大弼

松平中務大輔

立花飛騨守

右 同断
綿百把 金馬代 銀百把 綿百把

同

同式百枚

同百把

時ふく五

銀馬代

銀馬代

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

尾張殿使者

柳營日記次
貞享元甲子年
五月御用番
阿部豊後守秋元撰津守坂本内記彦坂老岐守北條安房守
大岡備前守小倉半左衛門宮城主殿
朔日
月次御札相濟
一束一卷
銀馬代
御座間拝謁
本院へ被進折枝御香包
三十進上之
箱肴
金老枚
時ふく二羽折
泥障二指
銀馬代
藤目
碩学之
御札
高野
隨心院
岡部土佐守
信濃衆
知久伊左衛門
座光寺喜兵衛
天草御代官
肥後国米良山支配
永田七郎左衛門
米良主膳

御宮 御堂へ初瓜茄子御進献
相原善兵衛
闕所物奉行
清水三郎右衛門
老免

御花畑 炮隊 井上半十郎組 御目付 平野九左衛門

三日
如例年御家門方諸大名、端午之御帷子献上之。
惣數七百八十四

御座之間

金十枚
 尾州口
 上使御暇
 出御
 午刻御黒書院
 銀五百枚
 拾五十
 御馬
 上使
 御暇
 山城守
 松平相模守
 稻葉出羽守

同五百枚
同五十
同
初面
上使山城守
松平長門守
御使番
拾貳十

京極備中守
仙石越前守

同	銀百枚	加藤遠江守
同五十枚		黒田甲斐守
同		京極甲斐守

田村右京大夫
九鬼和泉守

同
森 對馬守
前田右京大夫

谷 出羽守
織田信濃守
同
同

同六 銀百枚
同四 羽折

片桐主膳正
溝口帶刀

同 松平久米之助
同 関大蔵
同 土方奎之助

大村因幡守
御勝手より
参勤
縮緬廿反
銀馬代

銀馬代	同	北条伊勢守
染皮廿枚	同	大御番組頭
銀馬代	同	

御番衆倅共式人
御葉苗医 本賀徳順
御小納戸
御小姓江
久

右之通被 仰付候
一 評定所式日寄合加賀守出座也

五
目

十一日

本賀徳順

右は新規百俵五人扶持被下之

十二日

式日評定所寄合山城守出座

御宮 御堂へ初揚梅御進献

十三日

興津久七郎

右ハ忠孝之御條目ニ背御奉公之筋忘却遁世仕候儀不

届ニ被 思召候毛利権三郎江御預被成候旨於評定所高木

伊勢守申渡之能勢惣十郎松平孫大夫立合

十四日

御暇

那須衆
芦野民部

福原内匠

同 猪之吉

十五日

御座之間

日野伊豫守

右 御目見

御白書院月次之御礼有之

銀馬代 参府

一東一卷 後住御礼

三東二巻 同

香包 峯入焼り

同 同

箱さかな 参上

同

御筭

在所へ御暇

十六日

大御番頭
安藤丹波守

北條伊勢守

右ニ一條在番両組中御改有之

水戸殿領分鹿嶋ノ如例年御被末廣五本献上之

十七日

紅葉山江 御名代

寺社

堀田筑前守

坂本内記

本多淡路守

高木伊勢守

大目付 秋田平大夫

御目付 林藤五郎組共

御徒頭 櫻井庄之助

日光御目付代

十八日 桐之間

右之通被 仰付之

右は還俗被 仰付候

十九日

堀田對馬守上ヶ屋敷御留守居柴田但馬守御役屋敷ニ被下

之

横山甚右衛門

右は願之通御役御免也

土岐出羽守

右は来月十五日 東福門院御七回忌ニ付為 御名代京都江

可被遣候旨被 仰付之

廿日

酒井七郎左衛門

小嶋大式

但馬御代官

和州同

森本惣兵衛

後藤廉乗

本坂奉行

近藤縫殿之助

上野 御名代

寺社

堀田筑前守

坂本

本多

高木伊勢守

大目付 須田市兵衛

御徒頭 岡野平左衛門組共

當六月 東福門院様七回御忌ニ付泉涌寺社舟院両寺御

(日次記は御法事) 事中松平日向守勤番被 仰付ニ付奉書且又二條在番植

村土佐守本多紀伊守両組大御番組頭一人御番衆式人充

御法事中両寺へ可相詰旨

一淨徳院殿御仏供料式百俵増上寺へ御寄附付寺社江

本多 申渡

淡路守 増上寺役者へハ内記申渡

廿一日

御座之間

稲葉出羽守

尾州御使帰り

若王寺

勝仙院

春木大夫

山本大夫

時ふくニツツ

右御暇ニ付被下之

廿二日

式日寄合加賀守出座

紅葉山 御宮増上寺上野御仏殿へ熟瓜御進献

廿三日

銀四十枚

同三十五枚

同十五枚

同 同拾枚

同十五枚

同十枚 ヅツ

同十五枚 ヅツ

同五枚 ヅツ

同十枚 ヅツ

同十五枚 ヅツ

同五枚 ヅツ

同五枚 ヅツ

觀世大夫

今春大夫

大藏庄左衛門

金春八左衛門

近藤権右衛門

春藤源七郎

同 六郎次郎

梅若六郎

春日四郎右衛門

大藏長右衛門

鷲 仁右衛門

大藏弥太郎

春日市右衛門

同ツツ
同
同十枚ツツ

右之通被下之

重一
一昨廿一日 淨徳院様御仏料式百俵被為附之旨 日増上
寺 御名代堀田筑前守^ツ以被 仰遣之

廿四日
増上寺 御名代

堀田筑前守
坂本内記
本多淡路守
高木伊勢守
能勢惣十郎

松浦市左衛門組共
御使吉良上野介
日光御門跡

右は御帰府^ニ付被遣之

廿五日

春宮御所
御普請奉行
中坊長兵衛
日向傳右衛門
坂部三左衛門
望月忠左衛門

右之通被 仰付候

織部次男
松浦主税

右は願之通養子被 仰付候

綿百把
金馬代

右は參勤御礼病氣故以使者差上

小普請^ノ御番入被 仰付候

御小姓組^江

内藤宮内
水野源之丞
倉橋兵之介
大久保新八郎

御書院番^江

大御番

同

小十人組

右之通被 仰付之

廿六日

御書物奉行

大坂
御蔵奉行
御加増百俵被下

堀 數馬

戸田右衛門

新庄内藏介

横田彦五郎

菅沼長兵衛

野一色外記

神保平八郎

五味金右衛門

黒川与左衛門

田澤七郎左衛門

八木五郎右衛門

遠山四郎右衛門

久保宇右衛門

藁科三之丞

多田久左衛門

酒井助之進

萩原弥太郎

門奈喜六郎

小林源大夫

松波長四郎

小林七郎右衛門

大河原十兵衛

内藤半左衛門

蜂屋源六郎

内藤吉右衛門

朝倉勘四郎

長田傳左衛門

新番

松平右近將監組
大番
廣戸藤右衛門

松平主計頭組
松永太郎右衛門

水野圓防守組
勝次郎右衛門

同組
小十人組頭

關所物奉行

御徒組頭

小田切善兵衛組
青沼市郎左衛門
佐々木庄五郎組
根来平兵衛
御廣繁番
本多又右衛門
同
御徒目付
鈴木藤兵衛
水野小右衛門
御徒
石野八兵衛組
安井甚右衛門
中山平右衛門組
加藤孫右衛門
神尾飛騨守組
村山團右衛門
御膳御室所
酒入半左衛門

右之通被 仰付候

御膳所御臺所組頭^ヘ
百俵高被成下
二種二荷
段子廿卷 水糖一箱

右^ハ帰国^ニ付以使者差上之

小普請永井善八郎事去^ル廿二日致乱心妹^ヲ差殺自分致
自害候由

廿八日

箱肴 病後御礼
銀馬代 參勤
一荷二種 上使御礼
八講布百疋 帰国御礼
二種一荷 自給御礼
銀百枚 四人

右^ハ當月御祈祷料^ニ被遣之

春宮御殿御作事御徒之輩下奉行被仰付

新見七右衛門組
小嶋惣右衛門
松平左門組
高久助右衛門
宮崎七郎右衛門
能勢又左衛門
甲斐庄三郎右衛門
林藤五郎組
竹本三左衛門
岡野平左衛門組
尾嶋友右衛門
諏訪部文右衛門
川奈助右衛門

廿九日

於 御前京都^江御暇

（金十枚）
（時ふく三）
羽折

土岐出羽守

右は於京都 東福門院御法事^二付御暇被下之

時ふく三 御暇 米良主膳

同 同 佐野主膳

尾黄門巢鷹六（うち児鷹^二）被献之

晦日

時ふく四 御暇 尾張殿使者 澤井三左衛門

同三 同 松平加賀守使者 小幡宮内

同五 同 筑紫 善導寺

（銀三十枚）
同三 同 初瀬 小池坊

御宮 御堂へ新米御進献

柳營日次記

貞享元^甲年

六月御用番

戸田山城守堀田對馬守本多淡路守柴田和泉守甲斐庄飛

騾守中山隱岐守能勢惣十郎大澤左兵衛

朔日

月次之御礼有之

（銀燭二箱）
金馬代 越後婦

（泥障五懸）
銀馬代 内藤紀伊守

一束一卷 参府 岩城伊豫守

時ふく二 参府 尾張殿上之使者 金地院

甲宰相殿へ巢鷲^二被献之

二日

御暇 信濃衆 座光寺喜兵衛

知久伊左衛門

三日

四日

式日評定所豊後守出座

上使池田帯刀 紀伊殿

同 同 甲府殿

同 大久保豊前守 水戸殿

巢鷹二ツ

五日

未下刻三丸^江 渡御申下刻 還御

御厩方加藤権左衛門御代官南条金左衛門下総国佐倉野

馬被御用被遣^二付 御朱印被下

六日

已下刻御黒書院 出御

無之 編子廿巻 金馬代 松平信濃守

御書様へ

五枚

十枚

（銀百把）
金馬代 松平和泉守

同 水野美作守

（時ふく十）
金馬代 松平丹波守

（泥障三懸）
銀馬代 本多能登守

同 同 秋田信濃守

（銀燭五箱）
金馬代 溝口信濃守

同 大高五束 水谷左京亮

（銀燭二箱）
銀馬代 大関信濃守

（時ふく三）
銀馬代 小笠原備中守

同 同 新庄主殿

（那須紙五十束）
銀馬代 本堂源七郎

（泥障三懸）
銀馬代 山崎勘解由

（綿百把）
金馬代 酒井靱負佐

（時ふく三）
銀馬代 土井式部少輔

二種一荷 大坂到着付 以使者差上之 尾張殿家来 水野右衛門大夫

右は御国許 巢鷹式居被遣候旨申渡之^江

巢鷹二内兄鷲一ツ

上使秋元集人 尾中将 紀中将 殿^江被遣之

前田伊賀守 水少将

七日

戸田肥後守昨日居屋敷二階へ下候節踏はつし落脇差鞘走

脇腹へ背^江突貫今朝死去也

御代替^二付諸国寺社領之 御朱印可被下旨去頃被 仰

出依之諸奉行人諸御番頭諸役人等へ觸之覺書渡之

覚

御當家御代々 御朱印所持之寺社之輩へ勿論 御一代

之 御朱印於令所持は不依寺社領多少又へ境内計之雖

為 御朱印此度 御朱印可被下旨被 仰出条 御先代

之 御朱印^三写しを差添今年七月より八月迄之内江戸へ

持参いたし土屋相模守本多淡路守所へ相連候様可被觸

之候以上 大成令遇作達 〔は未考〕

今夕戸田山城守宅^三 在府諸侯家来呼寄右御觸書渡之

八日 式日評定所加賀守出座

上野 御名代 阿部豊後守

宮城主殿遠慮御免申渡

但甥興津久七郎先頃御願よりて也

御納戸

九日 松平淡路守

(純子廿巻
二種一荷)

右は帰国之御礼以使者差上之

宮城主殿

所々へ御朱印觸飛脚

十日 公儀江訴

土方伊賀守弟助之進事伊賀守之不快之儀有之

訟差上之上野江立退候処今日於評定所御詮議有之内

松平佐渡守へ御預之由林信濃守申渡

御座間御建直付奉行大久保佐渡守小普請奉行小普伊

右衛門駒井半右衛門下奉行可相勤旨

十一日 御黒書院江 出御也

(銀百枚
綿百把
金馬代
右同断)

松平隠岐守

水野隼人正

松平周防守

淺野内匠頭

井伊伯耆守

植村右衛門佐

堀左京亮

酒井石見守

菅沼主水

松平右京亮

太田備中守

林信濃守

在着御礼藤堂和泉守段子十巻二荷一種献上使者

十二日 右之通被 仰付 時ふく三 御暇

大御番

岡部越前守組

山角六郎右衛門 五

北条伊勢守組

西尾伊兵衛 四

同

小林三右衛門 三

同

萩原十右衛門 二

同

篠山孫八郎 一

同

武嶋三郎兵衛 九

同

大谷市右衛門 十

同

永田弥兵衛 八

同

久保七郎左衛門 六

同

水野庄八郎

同

齋藤安兵衛 十四

同

布施五大夫 十二

同

吉田久米助 十一

同

林半右衛門 七

同

久留八郎兵衛 五

同

齋藤勘右衛門 六

同

中山勘右衛門 七

同

三橋八郎左衛門 一

同

十三日 御黒書院江 出御

(時ふく三十
御馬)

小笠原遠江守

岡部内膳正

内藤紀伊守

小笠原老岐守

西尾隠岐守

稲垣信濃守

右近大夫
内藤信濃守

岩城伊豫守

堀長門守

最上刑部

牧野駿河守

岡部土佐守京都役屋敷類火二付為作事料銀式十メ目被下之

十四日

高五万式千石

内五万石

次男

太田撰津守

太田備中守

同 帶刀

同 玉置佐右衛門

土方伊賀守家来

川井圖書

阿倍長蔵

右今度土方助之進訴状差上二付御詮議之内溝口信濃守へ御預被 仰付之

十五日

依例御礼無之

十六日

已刻大廣間 出御 御中段渡御御菓子被下之御嘉定

之御祝儀着座

御刀
永井相模 k 舞

出御前松平出雲守着座被 仰付

伊達主馬表四品之末^二可罷出旨

松平左京大夫

松平出雲守

松平陸奥守

細川越中守

松平伊豫守

松平伯耆守

宗 對馬守

織田山城守

松平薩摩守

松平土佐守

松平安藝守

佐竹右京大夫

上杉弾正大弼

出席之次第

井伊掃部頭

堀田筑前守

吉良上野介

大沢右京大夫

松平播磨守

保科肥後守

松平大和守

大久保加賀守

戸田山城守

阿部豊後守

畠山飛驒守

畠山民部大輔

由良信濃守

松平中務大輔

毛利甲斐守

立花飛驒守

松平信濃守

森 伯耆守

四品

松平肥前守

南部大膳大夫

伊達主馬

松平隱岐守

本多中務大輔

牧野備後守

堀田下総守

日野伊豫守

織田隼人正

右^ハ老人宛出座頂戴之外老万石以上大名同息無官之

高家詰衆諸物頭諸役人三千石以上之寄合法印法眼医

師迄頂戴之

(^一肅用正
^二一種一齊)

右^ハ帰国之御礼以使者差上之

十七日

紅葉山^江

御名代

日光御目付代

馬場新右衛門設案長兵衛遠州奥山領へ御用^二付被遣

御朱印被下

十八日

已刻御黒書院^江

出御

(^一時ふく三十
^二御馬)

羽折

(^一同七
^二同六)

(^一同五
^二同六)

同

同

同

(^一同四
^二同五)

(^一同五
^二同十)

同

同

十九日

甲府殿^ハ御鷹之雲雀被献上之

時ふく三 御暇

阿部与次郎兵衛

松平相模守使者

牧野備後守母死去忌中^二付^而柳澤弥太郎被遣之

右此度出入^二付御詮儀之内御預之旨高木伊勢守申渡之

廿日

上野^江

御名代

廿一日

(^一三種二齊
^二純子十卷)

御役替

大御番組頭

村上彦太郎跡

大御番組頭

五十俵足高被下

浅草御藏奉行

勝次郎右衛門跡

右^ハ病^二付願之通御役御免之旨上田弥右衛門^江申渡之

東福門院御法事去十五日 相濟 所司代注進

廿二日

式日寄合豊後守出座

廿三日

辰后刻御黒書院

出御

(^一總百把
^二蠟そく十箱)

金馬代

銀馬代

銀馬代

銀馬代

銀馬代

銀馬代

銀馬代

銀馬代

銀馬代

銀馬代

銀馬代

銀馬代

松平出羽守使者

原 忠右衛門

松平主計頭組

佐原小十郎

小林源大夫

高尾源右衛門

齋藤頼母

火消役

新庄主殿

酒井石見守

本多肥後守

松平市正

織田内記

松平遠江守

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

松平市正

同二 婚姻御礼
同 金廿枚 時ふく十 金馬代 分知 御國元へ 巢鷹被 遣之御礼
銀馬代
御勝手より
大御番頭
金五枚 時ふく五 羽折 大坂江
銀十枚 フツ 大坂江 時ふく二 御暇 同十枚ツツ
宇治 掃り
御數寄屋頭
中川立甫
大御番組頭八人
御番衆九拾式人
同せかれとも十三人
遺物
御刀相州行光代金廿五枚
御掛物 牧溪筆
御臺様 江
後撰集 青蓮院尊應筆
右之通差上之
松平若狭守在着使者二種一荷献之
右之通養子被 仰付候
廿四日 増上寺 御名代
廿五日 松平出羽守使者 原 忠右衛門
右御暇ニ付被下之
廿六日

松平志摩守
新庄主殿
太田備中守
同 帶刀
尾張殿使者
松浦仁左衛門
太田備中守家来
山田宇右衛門
太田織部
水野周防守
松平主計頭
土屋主税
御數寄屋頭
中川立甫
大御番組頭八人
御番衆九拾式人
同せかれとも十三人
遺物
御刀相州行光代金廿五枚
御掛物 牧溪筆
御臺様 江
後撰集 青蓮院尊應筆
右之通差上之
松平若狭守在着使者二種一荷献之
右之通養子被 仰付候
廿四日 増上寺 御名代
廿五日 松平出羽守使者 原 忠右衛門
右御暇ニ付被下之
廿六日
御鷹雲雀
同 御菓子 欠
右は忌中ニ付被遣之
御勘定組頭
岩手藤左衛門
御勘定
木部五郎左衛門
五味与五兵衛
仰付候
尾張殿使者
松浦仁右衛門
廿七日
雲雀
上使瀧川長門守
尾張中將殿
同 紀伊中將殿
同 酒井忠岐守
水戸少將殿
右被遣之為御礼登 城
千代姫君様江も御鷹之雲雀被遣之
御勘定組頭
櫻井藤兵衛
御勘定
秋山五郎兵衛
右は於中山隱岐守宅申渡之
欠 御役被 召放
欠 御役御免
欠 御役被 召放
廿八日
月次之御礼有之
右は詰衆被 仰付候
欠
右は向後御譜代之席江可相勤旨被 仰付之
駿府御目付
大坂御目付
高田御目付
駿府御目付
右之通被 仰付候
永見伊賀守
林 権左衛門
柴田三左衛門
赤井五郎作
筒井内記
永見甲斐守
上使福妻出羽守
紀伊殿
甲府殿
水戸殿
上使柳沢赤太郎
牧野備後守
御勘定組頭
岩手藤左衛門
御勘定
木部五郎左衛門
五味与五兵衛
仰付候
尾張殿使者
松浦仁右衛門
廿七日
雲雀
上使瀧川長門守
尾張中將殿
同 紀伊中將殿
同 酒井忠岐守
水戸少將殿
右被遣之為御礼登 城
千代姫君様江も御鷹之雲雀被遣之
御勘定組頭
櫻井藤兵衛
御勘定
秋山五郎兵衛
右は於中山隱岐守宅申渡之
欠 御役被 召放
欠 御役御免
欠 御役被 召放
廿八日
月次之御礼有之
右は詰衆被 仰付候
欠
右は向後御譜代之席江可相勤旨被 仰付之
駿府御目付
大坂御目付
高田御目付
駿府御目付
右之通被 仰付候
永見伊賀守
林 権左衛門
柴田三左衛門
赤井五郎作
筒井内記
永見甲斐守

羽州御代官
松平清三郎
宝蔵坊使僧
八幡
参上 碁将戲之者 御目見
時服二 御暇
時服一
廿九日
土御門兵部少輔名越之御被差上之
御作法堀田對馬守勤之長袴
安宮様江御鷹之雲雀被遣候為御礼と水野土佐守
登 城
評定所 三冊 土方伊賀守家来御詮儀有之